

【実践報告2】

幼稚園教育要領の改訂を受けて、明星幼稚園で 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

明星幼稚園 副園長 寺岡稔晃

1. はじめに

「未来のための根っこを育てる」

変化が急速で予測が困難な時代にあって、学校教育（幼稚園のはじまり）には、子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と共働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況の変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められてることになった。

文部科学省が幼稚園教育の基本について定めている「幼稚園教育要領」が平成29年3月31日に改訂され幼稚園教育において育みたい資質・能力として「知識及び技能の基礎」、「思考力・判断力・表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の三つが示されました。

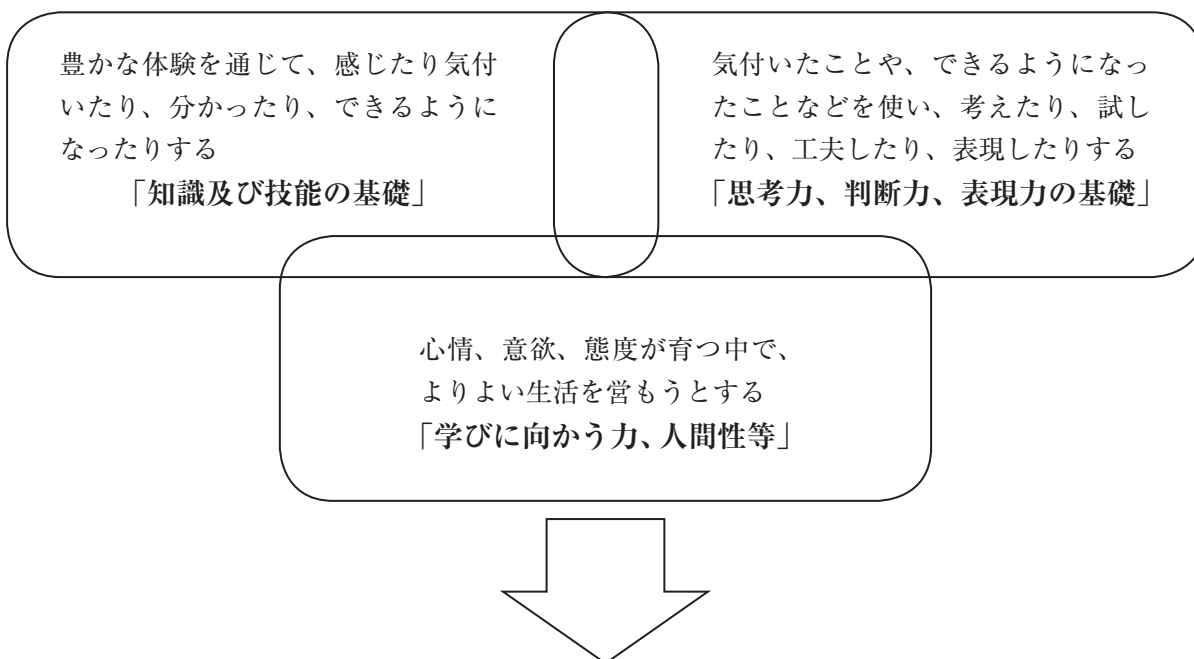
最近、社会では様々な問題がクローズアップされています。そんな時代を生きる子どもたちの人生を一本の木に例えると、木の幹、枝、葉、に目を向けがちですが、本当に大切なのは目に見えず、感じづらい「根っこ」なのです。

明星幼稚園では、その根っこの部分に目を向け、心を込め、関わりながら「未来のための根っこを育てる」をモットーにかかげ落ち着いて生活出来る環境の中で、かけがえのない園児一人ひとりの「21世紀を生きる力」の基礎を育みたいと思っています。

毎日を懸命に生きる子どもたち。始まったばかりの人生の5年、10年、20年後の未来を見据えながら幸せな成長を願って園独自の活動も含めながら<太く・深く・力強い>一生を支えられる大きな根っこを張り巡らせていきたいと考え、全力を注いでいきます。





2, 明星幼稚園で幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



<p>①健康な心と体</p>	<p>幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生や友だちと触れ合い、安定感をもって行動する。 ・体を動かす様々な活動に目標をもって取り組み、根気強くやり抜く事で達成感や満足感を味わう。 ・いろいろな遊びの中で、体を動かす気持ちよさや体を動かそうとする意欲を持つ。 ・進んで戸外で遊び、いろいろな遊びの中で体の諸部位を十分に動かし楽しんで取り組む。 ・様々な機会を通して食べ物への興味や関心をもち、先生や友だちと一緒に食べることを楽しんだり進んで食べたりするようになる。 ・自分の健康に対する関心をもち、体を大切にする活動を進んで行う気持ちをもち、健康な生活リズムを身に付ける。 ・遊具や用具の安全な使い方が分かり、目的に応じて使う。 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時の適切な行動の仕方が分かり、状況に応じて安全な行動がとれるようになる。 ・基本的な生活に必要な活動（衣服の着脱・排泄・食事）の必要性が分かり、自分で出来ることを考えたり、工夫したりしながら意欲や自信をもって行動する。 ・園生活における生活の仕方を身に付け、準備や片付け等、自分たちで生活の場を整えながら、見通しをもって行動する。
----------------	--

<p>②自立心</p>	<p>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でしなければならないことを自覚し、責任をもって行う。 ・自分のことは自分で考えて行い、自分で出来ないことは実現できるように工夫したり、先生や友だちの助けを借りたりして最後までやり抜こうとする。 ・活動や遊びの中で、難しいことでも自分なりに考えたり工夫したりしてあきらめずにやり遂げ、満足感や達成感を味わう。 ・身近な人たち（家族・友だち・先生・地域の人々）と親しみ、認められたり支え合ったりする経験を積み重ね、自分のよさや特徴に気付き、自信をもって行動するようになる。
<p>③協同性</p>	<p>友だちと関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。 ・友だちの思いや考えに気付き、分かるように伝えたり、相手の思いを理解して伝え方を考えたり、我慢したり、気持ちを切り替えたりしながら分かり合えるようになる。 ・友だちとの関わりの中で互いの感じ方や考え方に気付き、互いの良さが分かり、一緒に楽しみながら活動や遊びを進めていくようになる。 ・友だちとの遊びや活動の目的を共有し、工夫したり協力したりしながら、友だちと一緒に遊びを作り上げる楽しさや充実感を味わう。 ・目的を共有する中で、話し合ったり考えをまとめたり、自分の役割を考えて行動するなどして目的が達成できるように、個々の良さを発揮しながら遊びを進める。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

<p>④道徳性・規範意識の芽生え</p>	<p>友だちと様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友だちの気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友だちと折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。 ・友だちとの関わりを深め、思いやりをもち相手の気持ちを大切に考えながら行動する。 ・友だちと楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ったり、必要に応じて替えたり、新たに作ったりして守るようになる。 ・共同の遊具や用具を大切に扱うようになる。 ・自分の気持ちを調整しながら友だちと折り合いを付け、きまりを守って遊ぼうとする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>⑤社会生活との関わり</p>	<p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や身近な人から大切にされていることに気付き、家族を大切にしようとする気持ちや感謝の気持ちをもつ。 ・生活や遊びの目的に必要な情報を、伝えあったり活用したりしながら、情報を役立てる。 ・公共の施設を訪問したり利用したりする中で、みんなの物があることが分かり大切に利用しようとするようになる。 ・行事において国旗に親しみ、国際理解への意識が芽生える。

⑥思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友だちの様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

- ・身近な環境に関わり、自ら気づいたり、発見を楽しんだり、考えたりしたことを遊びや生活の中で活用するようになる。
- ・様々な環境の中で、不思議に思ったこと等を探求する。
- ・遊びの中で、予想したり確かめたり振り返ったりしながら、興味関心を高める。
- ・身近な物や用具の特性や仕組みを活かしたり工夫したり強いながら使うようになる。



⑦自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え、言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

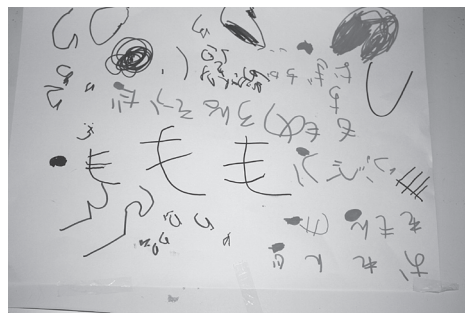
- ・自然に触れる中で、自然の美しさや不思議さ等を感じ、好奇心や探求心をもって関わる。
- ・自然現象を遊びに取り入れたり、自然の不思議さを感じたりして、関心をもつようになる。



⑧数量や図形、
標識や文字な
どへの関心・
感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自ら必要間に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

- ・生活や遊びの中で、数量、長さ、広さや速さ、図形などに親しみ、必要感から数えたり比べたり組み合わせたりして生活や遊びに取り入れる。
- ・生活や遊びの中で標識や文字が人と人をつなぐ役割をもつことに気付き、読んだり書いたりして生活や遊びに取り入れて使うようになる。



⑨言葉による伝
え合い

先生や友だちと心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聴いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

- ・生活の中で必要な言葉が分かり場に応じて使う。
- ・親しみをもって日常の挨拶をする。
- ・したり、見たり、聞いたり、感じたり考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する。
- ・したいこと、してほしいこと言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
- ・相手の話を注意して聴き、自分の思いや考えを相手に伝わるように話す。
- ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、言葉のもつ音の美しさや意味の面白さ、想像する楽しさを味わったり言葉で表現したりすることを楽しむ。
- ・いろいろな体験を通して言葉や表現に関心が高まり、言葉の獲得に楽しさを感じる。
- ・生活の中で、文字を使って思いや考えを伝える喜びや楽しさを味わう。
- ・英会話レッスンで、英語の発音に親しみ、英語で表現することを楽しむ。



⑩豊かな感性と
表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現するしたり、友だち同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

- ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、様々な表現を楽しみ、感じたり考えたりするようになる。
- ・友だちと一緒に工夫して創造的な活動を生み出していくようになる。
- ・友だちと一緒に表現する過程を楽しみ、認め合うことで表現する意欲が高まるようになる。
- ・音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単な楽器を作ったりする楽しさを味わう。
- ・描いたり作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする。



3, 明星幼稚園 教育課程 (5歳児)

期	1期	2期	3期	4期
月	4月～5月中旬	5月下旬～7月	9月～12月	1月～3月
主な行事	始業式(※) 入園式(※) ファミリー遠足(※) 放課後教室(※) 聖母祭(※) 芋植え(※) 個人面談(※)	うみたまご見学(※) プール開き(※) 合宿保育(※) 保育参観 ワンダフルデー(※)	敬老お招き会(※) 入園説明会 願書受付 ファミリー運動会(※) 遠足(※) 個人面接 芋ほり(※) 焼き芋大会(※) バザー(※) 七五三お祝い会(※) クリスマス会(※) ワンダフルデー(※) 餅つき(※)	観劇会(※) ワンダフルデー(※) 豆まき(※) 保育参観 お別れ会(※) 1日入園(※) 卒園式(※) 修了式(※)
	(※) 令和2年度は、中止 又は縮小した行事			
主な制作活動	こいのぼり制作 心の花束	高山辰雄展 出品 七夕 敬老の日のプレゼント 運動会の万国旗	運動会の絵画 遠足の絵画 (全国教育美術展 出品) 勤労感謝の日のプレゼント バザー出品リースづくり クリスマス会の飾り 心の花束	お正月の飾り制作 豆まきの絵画 鬼のお面 お別れ会のプレゼント ひな祭りの制作
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に慣れ、安定した気持ちで過ごす。(I 健康) 安全な生活に必要な態度を知る。(I 健康) 友だちに関心をもちながら、自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。(I 健康) 園生活に必要な約束を知り、守ろうとする。(II 人間関係) 身近な自然や生き物に触れ親しみや興味をもつ。(III 環境) 先生や友だちに返事をしたり、生活に必要な言葉が分かたりするようになる。(IV 言葉) 先生や友だちと一緒に簡単なリズムや歌を楽しむ。(V 表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。(I 健康) 気の合った友だちと互いに考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを味わう。(II 人間関係) 身近な物や自然物などに進んで関わりながら遊ぶ。(III 環境) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。(V 表現) 試したり、工夫したりしながら、色々な活動に取り組む。(V 表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に見通しをもち、必要なことに気付いて取り組む。(I 健康) 自分の力を十分に発揮しながら、色々な活動に進んで取り組み達成感を味わう。(I 健康) 友だちや先生の話や言葉を聞いたり、話したりしながら、伝えあう喜びを味わう。(IV 言葉) 学年全体やグループの友だちと共通のめあてに向かって協力したり工夫したりしながら達成感を味わう。(II 人間関係) 身近な自然や事象を見たり触れたりして、考えたり感動したりする。(III 環境) 感じたこと、考えたことを友だちと工夫しながら様々な方法で表現する。(V 表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に見通しをもち、必要なことに気付いて取り組む。(I 健康) 自分の力を十分に発揮しながら、色々な活動に進んで取り組み達成感を味わう。(I 健康) 友だちや先生の話や言葉を聞いたり、話したりしながら、伝えあう喜びを味わう。(IV 言葉) 学年全体やグループの友だちと共通のめあてに向かって協力したり工夫したりしながら達成感を味わう。(II 人間関係) 身近な自然や事象を見たり触れたりして、考えたり感動したりする。(III 環境) 感じたこと、考えたことを友だちと工夫しながら様々な方法で表現する。(V 表現)

期	1期	2期	3期	4期
月	4月～5月中旬	5月下旬～7月	9月～12月	1月～3月
内容	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園で遊ぶことに楽しさを感じ、喜んで登園する。(I 健康 1) 興味のある遊びを見つけ、先生や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。(I 健康 2) 持ち物の置き場所を知り、自分で始末したり遊んだ後の片づけをしたりする。(I 健康 6) 友だちと楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付く。(II 人間関係 1) 草花や虫などに触れ、春の自然の美しさや不思議さに気付く。(III 環境 1) 飼育動物や栽培物に親しみをもって接し、美しさや不思議さに気付く。(III 環境 5) 先生や友だちに親しみをもって返事や挨拶をする。(IV 言葉 1) 先生や友だちと一緒に歌を歌ったり、体を動かしたりすることを楽しむ。(V 表現 6) 描いたり、作ったりすることを楽しみ、遊びに使ったり飾ったりする。(V 表現 7・9) 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に戸外で遊ぶ楽しさや体を動かす心地よさを味わう。(I 健康 2・3) 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。(I 健康 4) 自分の身体に関心をもち、適切な休息の取り方に気付くと共に、手洗いやうがい、消毒、汗の始末、衣服の調節などを進んでする。(I 健康 9) 自分の思いや考えを友だちに伝え、友だちの思いや考えを受け止めながら遊ぶ。(II 人間関係 6) 幼稚園の中で、して良いことや悪いことがあることに気付く。(II 人間関係 9) 友だちと話し合い、簡単なルールを守りながら遊ぶ。(II 人間関係 11) 身近な自然に接する中で、季節の変化に気付く。(III 環境 3) 生活の中で数量に興味をもつ。(III 環境 9) 自分の気持ちや要求を言葉で表現し伝えようとする。(IV 言葉 2・3) 絵本や物語などに親しみ、言葉の楽しさや美しさに気付く、想像する楽しさを味わう。(IV 言葉 7・8・9) 生活の中で、様々な形、音、色などに気付いたり感じたりする。(V 表現 1) 身近な素材等を使った活動の中で、そのものの特徴や性質が分かって遊びを楽しむ。(V 表現 5)(III 環境 2) 自分のイメージしたものを身近な道具や素材を使って試したり、工夫したりして表現しようとする。(V 表現 8) 	<ul style="list-style-type: none"> 運動や遊びに意欲をもって取り組み、体を動かす心地よさを味わう。(I 健康 2・3) 栽培物の収穫の喜びを味わい、調理して食べる楽しさを味わう。(I 健康 5) 健康な体づくりに関心をもち、生活のリズムを整えたり、好き嫌いを減らしたりして、健康な生活習慣を身に付ける。(I 健康 6) 災害時の行動が分かり先生や友だちと一緒に機敏に避難する。(I 健康 10) 共通の目的に向かって取り組み、自分なりの力を出すことに喜びを感じる。(II 人間関係 8) 困っている友だちに気付く思いやりの気持ちをもつ。(II 人間関係 10) 自分たちで遊ぶ場を整え、身近に使うものを大切にし丁寧に扱う。(II 人間関係 12) 生活の中で数量に興味をもつ。(III 環境 7) 自然に触れて生活し、大きさ、美しさ、不思議さに気付く。(III 環境 1) 生活の中で、様々な物の仕組みや性質を感じ取り、気付いたり予想したり、工夫したりしながら多様な関わりを楽しむ。(III 環境 2) 秋の自然に関心をもち、工夫して遊びに取り入れれたり、秋を感じながら遊んだりする。(III 環境 4) 数量や文字、時間等に興味もち生活の中に取り入れて遊ぶ。(III 環境 6・9) 相手の話を注意して聴いたり、相手に分かるように話したり言葉で伝え合うことを楽しむ。(IV 言葉 4) 様々な出来事を通して、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。(V 表現 3) 感じたことや考えたことを自ら表現する喜びを味わう。(V 表現 4) 	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向けて、改めて食事の大切さを知り、進んで食べる気持ちもち、マナーを守って楽しく食べる。(I 健康 5) 就学への期待や喜びを感じ、進んで遊びやいろいろな活動に充実感を味わいながら見通しをもって取り組む。(I 健康 8) 自分なりのめあてをもって繰り返し挑戦し、達成する喜びを味わう。(II 人間関係 4) 共通の目的に向かって、友だちと一緒に協力し、最後までやり遂げようとする。(II 人間関係 4・8) 積極的に色々な友だちと関わりながら、喜びや悲しみを共感し合う。(II 人間関係 5) 園生活の中で、やって良いこと悪いことを自分で考えて場面に応じた行動をする。(II 人間関係 9) トラブルや疑問、こまったことを自分たちで解決していこうとする。(II 人間関係 9・10) 生活を共にしてきた友だちや身近な人たちへの感謝の気持ちをもつ。(II 人間関係 10) 冬の自然現象に関心をもち、取り入れて遊んだり不思議さや変化に気付いたりする。(III 環境 4) 日常生活に必要な簡単な数字、文字図形等に関心をもち、考えた遊びや生活に取り入れて使ったりする。(III 環境 10) 日常生活や遊びの中で、文字で伝える楽しさを味わう。(IV 言葉 10) 考えたことや感じたことを分かるように話したり相手の話を注意して聴いたりしながら、言葉で伝え合うことを楽しむ。(IV 言葉 4)